

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 スペースシャワーネットワーク  
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理グループ担当 (氏名) 長谷川 裕朗

TEL 03-3585-3242

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,674	△1.3	8	△64.8	16	△48.8	△12	—
23年3月期第1四半期	2,709	△7.9	24	—	32	—	△7	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △13百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△121.42	—
23年3月期第1四半期	△73.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,574	3,577	54.4
23年3月期	6,727	3,684	54.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,577百万円 23年3月期 3,684百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	875.00	875.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	875.00	875.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,445	△4.1	△63	—	△55	—	△66	—	△619.64
通期	11,300	△1.2	37	△80.8	55	△75.2	10	△81.0	93.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	106,908 株	23年3月期	106,908 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	106,908 株	23年3月期1Q	106,908 株
----------	-----------	----------	-----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月の東日本大震災による生産活動の低下や消費の冷え込みにより大きく落ち込み、企業の業況感も悪化しました。サプライチェーンの復旧は、当初想定より前倒しで進む見込みではあるものの、海外経済の減速懸念に加え、円高基調の継続による輸出産業への影響が懸念され、景気の先行きは依然不透明な状態にあります。

こうした中、当社グループでは、当社が運営する音楽2チャンネルのメディア価値の最大化を企図し、平成23年4月1日付けで「ミュージックビデオ専門/VMC」を「100%ヒッツ!スペースシャワーTVプラス」にサービス名称を変更するとともに、編成内容も大幅に改編いたしました。また、前連結会計年度から実施してきた子会社の経営改善策につきましては、一部で結果が出始めているものの道半ばであり、今後も継続が必要であると認識しております。

この結果、売上高は2,674,250千円と前年同期比35,356千円減(同1.3%減)となりました。これに伴い、営業利益は8,479千円と前年同期比15,611千円減(同64.8%減)、経常利益は16,510千円と前年同期比15,744千円減(同48.8%減)となりました。また、四半期純損益は12,980千円の損失となり、前年同期比では5,091千円減少いたしました。

#### ①放送関連事業

当事業につきましては、「スカパー!e2」及びブロードバンド系プラットフォーム経由の加入者は順調に伸びているものの、ケーブルテレビ局経由の加入者の伸びは鈍化してきており、「スカパー!」の加入者につきましては、引き続き減少傾向にあることから、「スペースシャワーTV」の番組視聴可能世帯数は848万8千世帯となりました。また、「100%ヒッツ!スペースシャワーTVプラス」の番組視聴可能世帯数は226万世帯(ともに平成23年6月末現在)となりました。広告営業売上につきましては、一般クライアントからのスポット受注は好調なもの、タイム提供は振るわず、全体としては前年同期を下回って推移いたしました。

この結果、売上高は1,245,842千円と前年同期比6,412千円減(同0.5%減)となりました。経常利益(セグメント利益)につきましては、売上の減少に加え、前連結会計年度に開業いたしましたライブハウス「WWW」が、東日本大震災の影響もあり未だ稼働が安定せず収益貢献していないことなどの影響により、74,310千円と前年同期比13,598千円減(同15.5%減)となりました。

#### ②映像制作事業

当事業につきましては、東日本大震災の影響によるCDの発売延期に伴い、ミュージックビデオの制作先送りが一部発生いたしました。その後持ち直し、売上高は198,261千円と前年同期比5,186千円増(同2.7%増)となりました。また、前連結会計年度末に不採算部門を廃止したことなどに伴い人件費等が減少いたしました。この結果、経常損益(セグメント損益)につきましては、6,582千円の損失となりましたが、前年同期比では6,580千円改善いたしました。

#### ③音楽ソフト事業

当事業につきましては、上記の経営改善策の実施により、音楽ソフトの流通販売を主に営んでいるバウンディ(株)の業績は売上・利益ともに改善いたしました。邦楽制作を主に行っております(株)ブルース・インターアクションズでは、当第1四半期連結累計期間において大型の邦楽作品のリリースが少なかったことからCD・DVDパッケージ売上が前年同期を下回るとともに、書籍出版売上においても、前年同期にみられたヒット作品に恵まれなかったことにより前年同期を下回っております。また、音楽出版売上につきましても、前年同期においてはヒット作品に係る二次使用料収入が一時的に増加しましたが、当第1四半期連結累計期間においては平常どおりの収入に留まった為、売上は前年同期を下回りました。この結果、売上高は1,230,146千円と、前年同期比34,129千円減(同2.7%減)となり、経常損益(セグメント損益)につきましては、55,922千円の損失となり、前年同期比では13,766千円減少いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に流動資産その他が297,947千円増加し、一方で現金及び預金が364,033千円、固定資産繰延税金資産が46,285千円、敷金及び保証金が27,445千円、のれんが18,893千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ153,283千円減少し、6,574,284千円となりました。

負債につきましては、主に預り金が96,854千円、買掛金が96,526千円、未払金が64,131千円増加し、一方で未払法人税等が132,946千円、賞与引当金が87,351千円、役員退職慰労引当金が81,344千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ46,507千円減少し、2,996,985千円となりました。また、純資産は利益剰余金が106,525千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ106,775千円減少し、3,577,298千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通り推移しており、平成23年4月28日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,858,016	2,493,983
受取手形及び売掛金	1,431,604	1,454,325
商品及び製品	239,413	235,303
仕掛品	74,611	69,427
原材料及び貯蔵品	5,939	5,960
繰延税金資産	69,801	90,848
その他	265,895	563,843
貸倒引当金	△115,467	△118,956
流動資産合計	4,829,815	4,794,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	592,293	592,423
機械装置及び運搬具	23,246	23,246
工具、器具及び備品	332,197	339,429
土地	195,864	195,864
リース資産	455,071	455,071
減価償却累計額	△725,815	△759,769
有形固定資産合計	872,857	846,266
無形固定資産		
のれん	102,251	83,358
ソフトウェア	176,533	174,403
リース資産	48,020	53,622
その他	50,807	51,000
無形固定資産合計	377,613	362,385
投資その他の資産		
投資有価証券	5,779	5,620
敷金及び保証金	364,828	337,383
繰延税金資産	206,476	160,191
その他	89,835	87,797
貸倒引当金	△19,639	△20,093
投資その他の資産合計	647,280	570,898
固定資産合計	1,897,752	1,779,549
資産合計	6,727,567	6,574,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,042,120	1,138,647
未払金	178,760	242,892
未払法人税等	132,946	—
預り金	454,875	551,730
賞与引当金	115,544	28,193
役員賞与引当金	17,510	912
返品調整引当金	74,544	79,632
売上割戻引当金	1,698	2,109
リース債務	85,452	86,496
その他	27,767	47,541
流動負債合計	2,131,221	2,178,155
固定負債		
リース債務	345,959	333,637
退職給付引当金	394,844	395,169
役員退職慰労引当金	163,879	82,535
その他	7,587	7,487
固定負債合計	912,271	818,830
負債合計	3,043,493	2,996,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,049,154	942,629
株主資本合計	3,684,272	3,577,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△197	△448
その他の包括利益累計額合計	△197	△448
純資産合計	3,684,074	3,577,298
負債純資産合計	6,727,567	6,574,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,709,606	2,674,250
売上原価	1,975,406	1,979,811
売上総利益	734,199	694,438
返品調整引当金繰入額	1,535	5,087
差引売上総利益	732,664	689,350
販売費及び一般管理費	708,573	680,871
営業利益	24,091	8,479
営業外収益		
受取利息	229	150
受取配当金	60	49
貸貸収入	1,290	1,290
諸預り金戻入益	4,769	2,459
雑収入	3,371	7,059
営業外収益合計	9,720	11,009
営業外費用		
支払利息	1,546	2,738
その他	9	239
営業外費用合計	1,556	2,978
経常利益	32,255	16,510
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,788	—
特別利益合計	1,788	—
特別損失		
固定資産除却損	—	360
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,564	—
災害見舞金等	—	2,151
特別損失合計	10,564	2,511
税金等調整前四半期純利益	23,478	13,998
法人税、住民税及び事業税	30,842	1,831
法人税等調整額	525	25,147
法人税等合計	31,368	26,979
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,889	△12,980
四半期純損失(△)	△7,889	△12,980



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,889	△12,980
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△190	△250
その他の包括利益合計	△190	△250
四半期包括利益	△8,080	△13,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,080	△13,231
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	放送関連	映像制作	音楽ソフト	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,252,255	193,074	1,264,276	2,709,606	—	2,709,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,189	11,087	1,089	13,366	△13,366	—
計	1,253,444	204,162	1,265,366	2,722,973	△13,366	2,709,606
セグメント利益(△損失)	87,909	△13,162	△42,156	32,589	△334	32,255

(注) 1. セグメント利益の調整額△334千円には、セグメント間の受取配当金消去△1,000千円、セグメント間取引等消去665千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	放送関連	映像制作	音楽ソフト	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,245,842	198,261	1,230,146	2,674,250	—	2,674,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,709	1,510	2,875	6,095	△6,095	—
計	1,247,552	199,771	1,233,022	2,680,345	△6,095	2,674,250
セグメント利益(△損失)	74,310	△6,582	△55,922	11,805	4,704	16,510

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去4,704千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)  
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。